

ぷくぷくほーむ（短期入所・日中一時）

管理者 吉川博

皆様おすこやかに新春をお迎えのことと存じます。

旧年中はひとかたならぬご厚誼を賜りまして、大変ありがとうございました。

本年も宜しくお願い致します。

安全に利用者様を預かることを第一にしながら、安心して利用していただけるように努力していきます。

安全対策として、老朽化して傷んだ床の全面張替えを行いました。扉のガラスはぶつかっても割れないように、柔らかいパネルを貼りました。

また、一人一人の利用者様が楽しく過ごせるようにゲームやトランプを用意したり等、それぞれにあった対応を今まで以上に心掛けて参ります。



ぱいろっと（相談支援）

相談支援専門員 前田康裕

新年明けましておめでとうございます。昨年中は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

年頭にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

昨年4月1日より、『相談支援事業所 ぱいろっと』を開設させて頂き、気が付けば10か月が過ぎようとしています。利用者様、ご家族の皆様並びに各関係機関の皆様には、大変お世話になり誠にありがとうございました。

ここで改めまして、相談支援事業所の業務について少しお話させていただきます。

相談支援事業所が行う計画相談とは、サービス等利用計画（障がい児支援計画）についての相談及び作成などの支援が必要と認められる場合に、障がい者（児）の自立した生活を支え、障がい者（児）の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、ケアマネジメントにより、きめ細かく支援出来るものでなければなりません。それを踏まえて、障がい福祉サービス等を申請した障がい者（児）について、サービス等利用計画（障がい児支援計画）の作成、及び支給決定後のサービス等利用計画（障がい児支援計画）の見直し（モニタリング）を行うという事が主な業務となります。ここで大事な点としては、利用者様が福祉サービスの提供を受けている現場に出来るだけ訪問し、利用者様の様子を直接確認させて頂くのはもちろん、各施設様の担当の方の話聞くという事があります。そうする事によって、より細かく、具体的な提案が可能となります。

昨年はスピードをモットーに、利用者様に少しでも早く福祉サービスを提供するという事を目標としてきましたが、今年はそれに加えて、どんな事でも相談出来る、利用者様やご家族様にとって身近な存在になる事を目標に頑張っていきたいと考えております。

編集後記

新しい年が始まり、目標を決めた方も多いのではないのでしょうか。今回は各事業所の今年の抱負や行事の様子をお伝えしました。次回の法人だよりは7月発行の予定です。

文責：津浦

社会福祉法人 緑樹福祉会

第2号 令和2年1月

緑樹福祉会だより

赤穂市大津 1041

TEL 0791-45-2240

FAX 0791-56-9000

<http://www.ryokuju-fukushi.com/>

理事長挨拶

理事長 三村佳壽子

新年明けましておめでとうございます。令和となり初めての新年を健やかにお迎のこととお慶び申し上げます。

本年は子の年で干支の始まり、全てが大きく始まり、開いていく予感がします。

エネルギーの変換、AIの広がり、キャッシュレスの社会、そして宇宙軍の創設など、これまでの価値観が大きなガラガラポンのように選別される。その価値観の中で従来の幸福を追求し続けることが確保されなければ、社会の進歩と認めることは出来ないのではと思います。

障がい者福祉においても、しっかりとより質の高い生活を提供できる環境づくりに邁進いたします。

昨年は相談支援事業所を開設し、社会資源をより活用し、社会生活力を高めていただくための豊富な情報提供、福祉サービスご利用プランのご提供、又障がいのある人、ご家族からの相談に応じ、権利擁護の為に必要な援助を当法人のホープである相談専門員が奮闘しながらも丁寧に取り添ってさせていただいております。

中期目標であったグループホーム建設は昨年より順調に進んでおります。予定地の農転、建築許可、助成金申請も進んでおり、地域の皆様へのグループホーム建築説明会が終わりました。説明会では、皆さまが真剣に耳を傾けてくださり、ご理解をいただいたことに有難い事だと感謝の念に堪えません。

今後の予定は、グループホーム建設のための補助金申請の審査会により決定していただくことが出来れば、5月若しくは6月ごろに内示をいただき、建築業者選定のための入札を経て秋には工事着工の運びとなります。完成しましたら、保護者、ご家族の皆様にお子さまの生活を見届け、安心していただけるよう強く願っております。

今後の課題としてはここ数年労働者不足が顕著で、介護職は特に深刻です。評議員会でも委員から外国人雇用の検討はいかかですか？とのご意見を頂戴しています。今は前向きに外国人雇用の為の情報を収集させていただいております。

又、年々異常と思われる気象状況により台風の上陸、それに伴う風水害の被害も年々大きくなっております。緑樹福祉会においても、市のハザードマップを活用し備えに力を入れ利用者様の安全に努めるのはもとより、地域の社会資源となり得るとの使命感を持ち対策を打ち出し、実践へ取組みたいと思います。

緑樹福祉会の事業としましては、「わかば園」「ぷくぷくほーむ」「てくてく」「ぱいろっと」の4事業ですが、法人として真の「ONE TEAM」となれるよう役職員一同努めて参ります。

本年も引き続き、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



56年振りに東京で開催されるオリンピック・パラリンピックの年2020年（令和2年・子年）が始まりました。日本選手の活躍がとても楽しみです。しっかり応援したいと思います。

さて、わかば園でも季節に合わせた行事が今年も始まりました。わかば園の新年の行事を紹介します。

<季節の行事を大切に>

1月7日（火）は新年会。利用者様は「ネズミ」の福笑いでワッハハの年初めをしました。

新年飾りのモチ花も利用者様の作品、新年の華やかさを演出しました。

1月16日（金）は、近隣の赤穂精華園から「とんど祭」にご招待いただき、「パチパチ」と高く舞い上がる火炎と煙に今年の健康を願いました。年男の利用者様が、点火セレモニーに出ました。

また、昨年12月8日（日）には、地元大津くろがね会主催の「だいこん祭り」がわかば園の園庭を会場に開催されました。多くの市民の皆さんがダイコンを買い求めに来られました。わかば園でも協賛して、就労継続Bの利用者様が「お好み焼き」「フランクフルト」の製造・販売をしました。

「美味しいお好み焼きはいかがですか。」と元気な呼び込みの声を響かせていました。

<給食が変わりました>

話は変わりますが、令和元年の10月1日から給食の業者を変更しました。これまでは利用者様が当日体調不良で休まれた時には、給食を止めることができませんでした。当日の朝の電話連絡で対応していただける業者さんが見つかり無駄が少なくなりました。またメニューが変わり、ボリュームも出て、味も上々と利用者の皆様からも好評です。

<今年も少しでもお役に立ちたい>

生活介護の利用者様がドライブに出かけた帰りに、福浦新田地区の高齢者の方の家まで出向き古新聞や段ボールなどの運搬のお手伝いをする活動を今年も引き続きしていきたいと思っています。



利用者様の作品



新年会（福笑い）



とんど祭り（精華園）



クリスマス会 2019年12月



年男の利用者様によるとんどの点火

新年、明けましておめでとうございます。平素はてくてくの活動にご理解とご協力いただきありがとうございます。本年も引き続き宜しくお願いいたします。

昨年は報酬単価が下がったため、人員配置を4人体制にせざるを得ませんでした。皆様には多大なご迷惑をおかけしております。

まずは、安全を第一に考えスケジュールの見直しを図ることにしました。指導員の話し合いの中で、子ども達は「学校で頑張っているので、ゆっくりさせてあげたい」という意見が出ました。そこで集団の活動の一つにし、少人数の活動は子ども達が考えてスケジュールを選択します。又「しない」という選択肢もあり、「ゆっくりするのもよし」としました。

少人数の活動では子ども達同士で誘い合い、自分たちでゲーム（オセロ、カードゲーム等）を進めていくので関わりがとて増えました。その中でトラブルもありますが「お友達と二人で遊びたいから他児を入れたくない」「この子が入ったら負けてしまうから入れたくない」等、関わるからこそその課題が出てきて、自分たちで話し合い解決していきます。子ども達だけでは解決できないことは指導員が仲介に入り、まずは子ども達の思いを聞き取り解決しています。論ずるのではなく、「私ならこうするかな」「こういう方法もあるよね」と伝え、「どう？」と聞いています。

他児にも身に付けて欲しい課題は、ソーシャルスキルとして集団活動に取り入れています。そういった一つ一つの積み重ねが社会性の向上にも繋がっていくと考えています。

又居室を利用し環境を変える事で、メリハリがつき子ども達も机上での作業、創作、歯科衛生士の資格を持った職員による「歯の話」等を集中してできる様になってきています。

てくてくで「今日何するのかな?」「〇〇さんに話を聞いてもらおう!」「あの子と遊ぼう!」など楽しみにして通える場所であるように職員一同、今年も頑張っていきます。



少人数の活動



自然学習・カブトムシ



防災訓練



地域交流会